



# 私たちが林業を支えています

人吉球磨地域の林業に従事する皆さんに、仕事の魅力を聞きました。

## Interview



### 自然を守る カッコいい仕事

株式会社 黒木山業 代表取締役  
くろき たかみち  
**黒木 貴道さん**  
(38 = 多良木町)

平成24 (2012) 年に会社を設立。5 人の従業員とともに、九州を中心に特殊伐採をメインに事業を展開する。モットーは「切れない木はない」。



▲グランドワーカーと確認しながら安全に作業する

大学卒業後、さまざまな出会いを通じて山に目を向けるようになり、林業大学校に入学し林業についてのノウハウを学びました。卒業後は地元で働きたい気持ちがあり、弊社に入社し、植林や間伐など木を植えて育てることに情熱を注いでいます。

林業の魅力は、何と言っても自然の中で体を動かし、健康的に働けることです。春には新緑の息吹を感じ、夏には木陰の涼しさに癒されるなど、四季折々の変化を肌で感じながら、山の中でストレスなく仕事ができます。森林は、私たちの生活に必要な木材となるだけでなく、土砂災害の防止、空気を浄化する役割などがあります。森の整備を通して地域に貢献できることも大きなやりがいです。

仕事では、昼休みにコーヒーを入れたり、プチキャンプをしたりとリフレッシュもできます。残業もなく、家族や友人との時間を大切にしながら、自然の中で心身ともにリフレッシュできる。そんな充実したライフスタイルを送ることができることは、林業の大きな魅力です。

自然の中で働き、地域に貢献できる林業。私と一緒に、緑豊かな未来を築きませんか。

実家が林業関係の仕事を営んでいたため、幼いときから林業は身近な存在。いつしか林業への憧れが芽生え、その道に進むことを決意しました。兄弟で父の仕事を手伝い、24 歳で独立。現在の会社を立ち上げて造林の仕事を中心に始め、徐々に伐採の依頼も増え、軌道に乗りました。

林業は常に危険が待ち構えていて、けがや事故の防止のため日本各地で講習を受け、安全対策を心掛けています。人吉球磨地域で弊社のみ導入しているロープワークは、ツリークライミングで木に登り、伐採するクライマーと地上から指示するグランドワーカーの信頼関係があってこそ作業が成り立ちます。

さまざまな状態や大きさの木を、試行錯誤しながら思いどおりに切り倒すことが魅力です。依頼者が諦めかけていた木を伐採し、喜んでもらえたときはうれしいですね。林業を通じて知り合った別の会社の仲間と一緒に仕事をする機会も多く、助け合って仕事ができることも魅力です。

人吉球磨には林業の会社が多くあり、自然を守るためにさまざまな努力をしています。楽しくやりがいのあるカッコいい仕事を私たちと一緒にしてみませんか。

### 自然の中で体を動かす 林業はきもちいい

合同会社 木人舎  
しるもと ゆきのり  
**城本 幸慶さん**  
(26 = 相良村)

森林や林業の持続可能性を確保するための事業を行う。大型ドローンを県内でもいち早く導入するなどして、スマート林業も推進。



▲ドローンを使い、シカの食害防護柵の材料を運搬

球磨郡市広報紙研究協議会合同特集

# つながる森林 つながる未来

～あなたも森林を守る一員になりませんか～

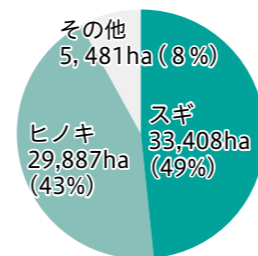
古くから森林に恵まれ、林業が盛んだった人吉球磨。近年、林業を取り巻く環境は大きく変化しています。長い年月をかけて人々の暮らしを支えてきた林業。その歴史と伝統を受け継ぎ、新たな時代を切り開こうとする若者たちがいます。

林業の今と未来一。仕事内容など、昔とは大きく変わった林業を取り巻く環境を詳しく見ていきましょう。

この特集は人吉市・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町の広報担当者が協力して作りました。

## 【人吉球磨地域の森林資源】

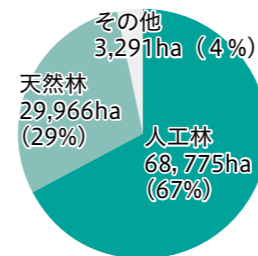
### ◆人工林資源構成



▲ 人工林面積の内訳

資料：熊本県林業統計要覧（令和4年度版）

### ◆森林資源構成



▲ 民有林面積の内訳

**人吉球磨の8割は森林**  
1市4町5村で構成されている人吉球磨地域は、地域の総面積153・657haのうち、林野面積が125・214haと総面積の81%が森林です。  
**生活に恵みをもたらす森林**  
森林には、木材の生産や水源の養成、国土の安全、生物多様性の保全などのさまざまな機能があり、私たちの生活に恩恵をもたらしています。近年では、地球温暖化防止の貢献に期待が高まり、森林の

## 森林を守る仕事「林業」

林業は、森林を維持管理しながら、育成した樹木を伐採し、木材を生産する仕事です。苗木を植え、豊かな森林にするために、下刈り、枯れた枝などを落とす枝打ち、森林密度を調整する間伐など、季節ごとに異なる作業を行い、持続可能な森林管理を行わなければなりません。  
例えば、あなたが使っている木の机や家、紙でできた本やノートなどは、全て森の木から作られています。林業の仕事は、これらの製品を生み出すために欠かせないものです。

## 林業はマンパワー不足

整備や保全が林業の重要な役割の一つとなっています。  
林業の現場は、担い手不足や森林所有者の高齢化などで森林の管理が適切に行われていないこと、経営意欲が低下してきていることなどの課題があります。伐採に必要な届出制度などの理解が進んでいないことや、届出数に対するマンパワー不足といった課題もあります。

人吉球磨で林業を学ぶ若者たち

人吉球磨地域には、林業従事者を育てる2つの学校があります。そこに通う若者に、どんなことを学んでいるかインタビューしました。

南稜高等学校

総合農業科環境コース林業専攻3年  
いんどりゅうほう  
犬童 隆峰さん(多良木町)

総合農業科環境コース林業専攻3年  
なかはら ゆき  
中原 有規さん(人吉市)

くまもと  
林業大学校

くまもと

くわはら りゅうせい  
**栗原 竜誠さん**  
 (19 = 錦町)

ひやま たくみ  
**桧山 拓洋さん**  
 (34 = 愛知県)

**林業を専門的に学ぶために**

**桧山** 愛知県で育ちましたが、幼少期は人吉市で過ごしたこともあり、将来は人吉球磨で働きたいと思っていました。林業が半導体分野へ進むか悩んでいましたが叔父が林業の仕事をしていることもあり、未経験からでも学べる林大への入校を決めました。

**桑原** 中学生の頃に林業を知り、南陵高校で学ぶなかで興味が出てきました。実習での伐採が楽しかったこと、担任の先生に林業の面白さを教えてもらったことで、林業の道に進もうと思いました。林業の仕事をするには、資格を得て現場に出たほうがいいので林大を選びました。

**現場で即戦力を養成**

**桧山** 林業について多くのことを座学と実習で学べます。例えば、「木は、呼吸をしながら光合成を行うが、高齢化し生長量が少なくなるにつれ、光合成の力が弱まっていく。年数がたつと、二酸化炭素の排出量の方が大きくなっていく」など、木が大きく育ったから伐採するという理由だけではなく、その土地の環境なども考慮して伐採する必要があることを学びました。

在学中に多くの資格を取れるの

で、卒業後に即戦力として働けることも魅力です。

**桑原** 入校してすぐは座学ばかりできつかったです（笑）。6月からは下刈りの実習でしたが、暑さと斜面での作業で大変でした。ただ、年齢関係なく和気あいあいとした雰囲気です。高校でも伐採をする授業がありました。が、木工制作がメインでした。大  
学校では現場に慣れるため、どん  
どん伐採させてもらえるので、と  
ても充実した毎日を送ることがで  
きています。



▲チェーンソーによる伐木等  
特別教育

**桧山** まだはっきりとは決まってい  
ませんが、将来は地元の人吉球  
磨で林業の仕事をしたいと考えて  
います。自分で決めた夢を叶えら  
れるよう頑張ります。

**桑原** 林大の実習では木をたくさ  
ん伐採できるので、今のうちに多  
くの実務経験を積み、取得でき  
ない資格を取得して林業の仕事  
に就きたいです。



▲チェーンソーによる伐木等  
特別教育

林業をなりわいに

**桧山** まだはつきりとは決まっていますませんが、将来は地元の人吉球磨で林業の仕事をしたいと考えています。自分で決めた夢を叶えたいという頑張りです。

林大の実習では木をたくさ

「楽しいよ」と言われ、選びました。  
**犬童** 父が山師、母が林木の加工場に務めていて、小さい頃から父の現場によく連れて行ってもらい、働く姿がかっこいいなと思い、林業への道を選びました。

**印象に残っている実習**

**中原** 毎年1月にある、ジビエの

**中原** 毎年1月にある、ジビエのバーベキューが思い出深いです。猟友会の人と一緒にわなを仕掛けて捕まえたイノシシやシカを食材に、みんなで朝から準備して食べるのは楽しく、命の大切さも感じながら親睦を深めることができました。

**犬童** 演習林での間伐の実習が一番印象に残っています。



### ▲丸太を積み込む実習

## 林業を専攻した理由

## 卒業後の進路

**中原** 先輩が林大に進学している、楽しく学びながら即戦力になれるということを教えてもらい、進学に興味が湧きました。親や親戚などから止められましたけど、姉が「したいことをしたらいい」と背中を押してくれた、さらには周りも説得してくれたので、夢に向けて林大進学を決めました。

**犬童** 卒業後、林業に携わる仕事へ就職と思っていました。が、3年生の春に林大のオーブンキャンパスに参加したことで、まずは林大へ進学してみようという考えに変わりました。

## 未来の林業を担う人材に

**中原** 木が倒れたときの達成感が好きで、林大では高校の実習よりも大きな木を切ることを楽しみにしています。女性が少ない職場ですが、豊かな自然環境を守っていきけるような人材になることを目標に、多くの資格が取れるよう頑張りたいです。

**犬童** 体を動かすことが好きなので、重機などの機械を扱う実習が楽しみです。また、在学中に多くの資格が取れるよう、力を入れていきたいと思っています。人吉球磨の林業に貢献できるような人材になりたいです。

## くまもと林業大学校

熊本県が運営する大学校で、県北・県南の2校を開校。県南校は五木村にあり、林業に必要な技術と現場力を身につけて、次世代をリードする林業の担い手の確保や育成を図っています。

毎年8月ごろには、くまもと林業大学校オープンキャンパスを開催しています。詳しくは、県農林水産部森林局林業振興課（☎096-333-2444）へお尋ねください。



▲ホーム  
ページ



▲TikTok



## 熊本県立南稜高等学校 総合農業科

球磨郡あさぎり町にある高校。総合農業科では、体験活動を中心とした学習を通し、命を育て生かしていくための知識や技術、自然と調和した暮らしについて学びます。

2 年次は「動物」「植物」「環境」の3つのコース、3 年次にはさらに学びを深める「畜産」「作物」「園芸」「林業」「農業土木」の5 専攻から選択できます。専門性を生かした校外活動にも積極的に取り組み、社会のあらゆる場面で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。



▲ホーム  
ページ





# 林業の最先端

～デジタル化で林業の推進へ～

## ◆スマート林業のメリット

- ・ **高齢化と人材不足の解消**  
大人数で手作業で行っていた作業を大型の機械などを使用すれば1人でできるようになります。
- ・ **生産性の向上**  
作業の効率化や省力化が実現し、生産性の向上につながります。
- ・ **安全性の向上**  
危険な作業をロボットやドローンに任せると、作業員の安全確保に貢献します。
- ・ **森林管理の最適化**  
ドローンなどで収集したデータを分析することで、森林の状況を正確に把握し、最適な管理計画を立てることができます。

デジタル技術を活用したスマート林業は、これまでの林業のあり方に大きな変化をもたらしています。

### 未来を開く革新（DX化）

近年では、さまざまな分野でデジタル技術を活用し、作業の変革を図るDX（デジタルトランスフォーメーション）が注目されています。

林業分野でのDX化は、森林調査やデータ分析など、従来、人の手で行ってきた仕事を効率化し生産性を向上させることや、重労働や危険が伴う作業のリスクを軽減し安全な作業環境を実現することができ、新たなビジネスモデル創出など多くのメリットがあります。DXの実現につながる「スマート林業」は、

情報通信技術やロボットなどを活用し、これまでの林業のあり方に大きな変化をもたらしています。

一方で、新しいシステムの導入や人材育成についての費用の負担、情報格差など課題もあります。これらの課題を克服し、DX化を成功させるためには関係者間の連携と、継続的な取り組みが不可欠です。

人材不足が課題となっている人吉球磨地域でも、林業のDX化は地域の活性化や持続可能な森林経営に貢献することが期待されます。

人吉球磨の林業もスマート化！ 人吉球磨地域でのスマート林業の取り組み状況を県の担当者に聞きました。

### 人材不足解消の一翼を担うスマート林業

近年人吉球磨地域の林業の現場は、深刻な人手不足に直面しています。そんな人手不足を少しでも解消するため「スマート林業」というDX化の取り組みを進めています。

具体例として、まず植林などの造林作業への大型ドローンの活用が挙げられます。人が容易に入れない険しい山地でも効率的に作業ができるようになり、人手もそこまで必要としないことから、非常に有効です。伐木などを伴う造林の場合は、大型の専門機械を導入する会社が増えてきて



▲ドローンを使用した森林調査や造林作業



▲大型の機械を使用した伐木・造材・搬出作業



▲画像解析ソフトを使った森林環境モニタリング

います。人の手による作業に比べて大幅な効率化を実現しています。

次にドローンを活用した森林管理が挙げられます。森林の構造を把握するために小型のドローンで撮影し、画像解析ソフト「KUMIKI」というシステムを使って森林の解析調査を行います。森林の状態を詳細に把握でき、より効果的な森林管理ができるようになっていきます。



熊本県南広域本部  
球磨地域振興局 農林部 林務課長  
こざき 小崎 ジュンさん

## 私たちの大切なふるさとを守るために――

森林は、私たちの暮らしを支える上で必要不可欠なものです。森はきれいな水を育み、空気を浄化し、災害から私たちを守ってくれます。

人吉球磨地域の安全安心を守り、豊かな森林資源を次世代につなぐためには、「木を切って、木材として使って、切った後には植栽をし、森林を育てる」という循環が鍵となります。

いま、これからの林業を支えていく若者が人吉球磨にたくさんいます。彼らは、大切なふるさとを守るために、新しい技術を取り入れながら、森を守り、育て、未来へとつなげていくという使命を持って地域に貢献しています。

若い林業従事者が伝えてくれた森林を守っていくことの大切さは、私たち一人一人の生活につながってくるものです。森の魅力に気付いたり、興味を持ったりすること、また、紙や木材を大切に使うことで私たちも木を守り、森を守ることができます。その小さな行動がふるさとの風景を未来へつなぎます。

